

学力向上のための重点プラン【小学校】

新宿区立牛込仲之小学校

■ 学校の共通目標

【HP公開用・

様式1】

授業作り	重 点	デジタルドリルを活用した基礎力の充実を図る。 授業の中で話し合いの場を設定し、対話を通して学習を深める。
環境作り		教室前面の掲示物を制限し、学習に集中できる環境を作る。

■ 学年の取組について

学 年	学習状況の分析 (各種調査から)	学校が取り組む目標 (日常の授業の様子から)	目標達成のための取組
1 学 年		<ul style="list-style-type: none"> 話し方（「です」「ます」）や、返事など、学校生活の基本を定着させる。 ひらがな、カタカナ、漢字の定着を徹底する。 足し算や引き算の計算の定着、また友達に自分の考えを説明できるようにする。 	<ol style="list-style-type: none"> 授業だけでなく、学校生活の中で話し方、返事の仕方を徹底する。 字形、とめ、はね、はらいなどの基本をくり返し練習する。 デジタルドリルを活用する。
2 学 年		<ul style="list-style-type: none"> 進出漢字が増えるので、漢字の確実な定着を徹底する。 算数の問題場面を想定し、自分の考えがもてる時間を授業で確保する。自分の考えをもって、考えを説明できるようにする。 丁寧な話し方ができるよう言語指導を重ねる。 	<ol style="list-style-type: none"> 各教科で自分の考えを表現できる時間を設定する。 授業だけでなく、学校生活の中で話し方、返事の仕方を徹底する。 デジタルドリルを活用し、習熟を図る。
3 学 年	<ul style="list-style-type: none"> 算数は「数と計算」「図形」「測定」の全ての領域で全国、区の平均より高い水準にある。 繰り下がりのある引き算などの正答率が低いので、基礎的な計算力を着実につけていく必要がある。 自分の意見を論理的に組み立て、説明する力を向上させる必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 計算、漢字などの基礎的な学習を定着させる。 答えを出すために、どう考えたかを説明できるようにする。 話し合いの中で様々な意見がもてるようにする。 文章構成を考えてわかりやすい文を書けるようにする。 	<ol style="list-style-type: none"> デジタルドリルの活用。 授業の中で自分の考えを説明する時間を設ける。 授業の中で話し合いの時間を設け、他者の考えを聞く。 毎週末に様々な題で作文に取り組みさせる。毎回、書き方のお手本を示し、それに沿って書くことで誰でも段落を正しく使い、順序立てて文章を書くことができるよ

			うにする。
4 学 年	<ul style="list-style-type: none"> ・国語、算数ともに全国、区の平均より高い水準にある。 ・漢字の学習や基礎的な言葉の学習などに課題があるので、繰り返し行い、知識を定着させていく必要がある。 ・考えをまとめて正しく話す、相手の意見を正確に聞くことに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計算、漢字などの基礎的な学習を定着させる。 ・学習したことを振り返ることができるようなノートを作る。 ・自分の考えが説明できる、相手の考えが理解できる話し合いができるようにする。また、複数ある意見の要旨をとらえ、分類できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ① デジタルドリルの活用 ② ノートの指導を徹底する。 ③ 授業の中で考えを説明し合う時間、意見を分類する時間を設ける。
5 学 年	<ul style="list-style-type: none"> ・国語「話す・聞く」の領域に課題がある。 ・自分の考えをまとめる力、相手の話の要旨を捉える力を向上させる必要がある。 ・算数では学力差が大きいので、習熟度別学習を計画的に行い、基礎的学力の定着が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話の要旨を捉えて聞くことができるようにする。 ・自分の考えが説明できる、相手の考えが理解できる話し合いができるようにする。 ・習熟度別に指導方法を工夫し、基礎的学力を定着させる。児童一人ひとりが自らの苦手な部分を意識し、課題に取り組めるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 「聞く」態度、マナー等について学び、正確に聞くことができるようにする。 ② 話し合いの場を意図的に設定し、自分の考えを説明するとともに、他者の話を聞く時間を増やす。 ③ 発展的な課題を増やしたり、基礎的な反復練習を行ったり、クラスの様子に合わせて指導方法を工夫する。
6 学 年	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを論理的に組み立て説明する表現力に課題がある。 ・算数では学力差が大きいので、習熟度別学習を計画的に行い、基礎的学力の定着が必要である。 ・既習事項を活用し、問題解決を図る力を向上させる必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを言葉や図などで端的に説明できるようにする。 ・習熟度別に指導方法を工夫し、基礎的学力を定着させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 授業の中で考えを書かせる時間を意図的に設定し、自分の考えをまとめること、説明して伝えることを繰り返す。 ② 発展的な課題を増やしたり、基礎的な反復練習を行ったり、クラスの様子に合わせて指導方法を工夫する。